

「オペラティック ガラ こうもりを 1/4 だけ」解説

音楽の都ウィーンで育まれたオペレッタの最高傑作、その一番おいしいところを超豪華キャストで。

「こうもり」はワルツ王と称されるヨハンシュトラウス(1825-1899)が満を持して書き上げたオペレッタの最高傑作です。オペレッタとは、楽しいオペラという意味で、喜劇という性質からオペラの中では軽視されがちなのですが、この「こうもり」だけは特別です。1874年に音楽の都ウィーンのアン・デア・ウィーン劇場で初演されて以来、世界のオペラハウスで愛されています。長年に渡って、ウィーン国立オペラのおおみそか、元日を彩る演目でもあります。

「こうもり」の華は第2幕。オルロフスキー公爵が主催する仮面舞踏会の場面です。いわゆる「アドリブ」が許される場面でもあり、上演されるごとに豪華なゲストやサプライズが用意され、客席を喜ばせてきました。

今回のコンサート「オペラティックガラ こうもりを1/4 だけ」では、この仮面舞踏会の場面をクローズアップ、つまりは「おいしいところ」だけが詰まった、濃厚なプログラムになっています。もちろん、多彩なゲスト、サプライズが満載です。「オペラティックガラ」の「ガラ」とは、お祝いの意味です。クウォーター・グッド・オフィスが主催するチャリティコンサートの第25回を迎えられたことへの感謝とお祝いの気持ちをこめて、このタイトルにさせていただきました。

「こうもり」あらすじ

19世紀ウィーン。

主要な登場人物は、富裕な実業家アイゼンシュタインと妻ロザリンデ、夫婦の召使いアデーレ、アイゼンシュタインの友人ファルケ博士。



ロザリンデ
(野田ヒロ子)



アイゼンシュタイン
(上原正敏)



ファルケ
(大山大輔)

夫婦

友人

召使い



アデーレ
(鶴木絵里)

○ファルケ博士は、以前ある仮面舞踏会で酔っ払い、こうもり姿のままアイゼンシュタインに置き去りにされ、以来みんなから「こうもり博士」と呼ばれるようになりました。そのことでアイゼンシュタインを恨んでいて、いつか仕返しをしようともくろんでいました。

○そんな折、アイゼンシュタインは、公務員を侮辱した罪で、8日間の禁固刑を命じられてしまいます。

○ファルケ博士はアイゼンシュタインに、刑務所に入る前に、オルロフスキー公爵が主催する仮面舞踏会に出て憂さを晴らさないかと誘い出します。もちろん妻ロザリンデには内緒で、と。これが、ファルケ博士の「仕返し」とは気づかず、アイゼンシュタインはウキウキとフランス貴族ルナール侯爵に扮して仮面舞踏会に出席します。

○一方、妻のロザリンデはハンガリーの伯爵夫人に扮し、召使いのアデーレも女優に扮し、それぞれ仮面舞踏会に出席します。

○アイゼンシュタインは、ハンガリーの伯爵夫人に扮したロザリンデを自分の妻と気づかず口説き、大事な懐中時計を渡してしまいます。

○さて、楽しかった仮面舞踏会の後日談は・・・

妻の浮気を疑ってきつく問いただすアイゼンシュタインに対して、ここぞとばかりに懐中時計を取り出すロザリンデ。結局はアイゼンシュタインが詫びることに・・・

○そして最後は、ファルケ博士のもくろみ(仕返し)も明らかになり、「すべてはシャンパンの泡のせい」と陽気に乾杯して幕が下ります。

コンサートの収益金は東日本大震災の被災地への復興支援出前コンサートに充てさせていただきます。

現在、私たちクウォーター・グッド・オフィスには、東日本大震災の被災地から「出前コンサートに来てほしい」というご要望が、多数寄せられています。

私たちは、15年以上に渡り、年1回、東京でのチャリティコンサートを開催し、その収益金で離島などへの出前コンサートを行ってまいりました。そうした実績があるので、被災地からののご依頼をいただくのだと思います。

昨年実施いたしました第24回チャリティコンサートの収益金および、多くの方々のご協力により、岩手県大槌町、仙台市若林区にて、復興支援コンサートを実施することができました。今年も、より多くの皆様にコンサートをお楽しみいただき、被災地へのご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



岩手県大槌町での出前コンサートのもよう



仙台市若林区での出前コンサートのもよう

ホームページでは出演者のプロフィールやプログラムをご覧いただけます。
またホームページからチケットのお申し込みができます。

<http://www.npo-qgo.org>

特定非営利活動法人クウォーター・グッド・オフィス
〒107-0052 東京都港区赤坂 5-1-34 クウォーターハウスビル 4階
TEL: 03-3505-0343